

機構の基本理念など

■基本理念

「確かな技術と信頼できる情報をもとに 暮らしの安全と未来への挑戦を支え続けます」

* 解説：私たちN I T E（ナイト）の基本理念には、独立行政法人の第3期中期目標とも呼応し、「私たちN I T Eが社会に顕在化するリスクをきちんとリスクであると認識し、それらのリスクに真摯に立ち向かうというスタンスを明らかにするとともに、私たちが社会に提供する微生物の保存・分譲技術や製品事故の原因究明技術など“確かな技術”と、化学物質の物化性状情報や計量法に基づく認定審査など“信頼できる情報”をもってリスクを引き受け、社会に顕在化するリスクを低減することで、人々の“暮らしの安全”を実現し、活力ある社会の実現のために産業界や企業、そして人々の“未来への挑戦”を支え続けていきたい。」との気持ちが込められています。

* スローガン：安全とあなたの未来を支えます

■行動指針

1. 誠実で責任ある行動をとります

国民全体の奉仕者であり、公的資金で運営していることを常に自覚し、中立な立場で公平、公正かつ効率的に業務を遂行します。

法令等の遵守、倫理的な行動を旨とし、適正に物事を判断し、誠実で責任ある行動をとります。

2. 熱意と誇りを持ち、より価値の高い成果を追求します

私たちの業務が社会の信頼と負託の上に成りたっていることを自覚し、自らの仕事に熱意と誇りを持って取り組みます。

自らを研鑽し、「広い視野」と「高い適応能力」をもって、専門性を高め、より価値の高い成果を追求します。

3. 最新の科学技術を活用し、得られた成果を社会に還元します

技術で行政を支える組織であることを踏まえ、常に科学技術の知見を高めていきます。知見を活用し、得られた成果を私たち一人一人が相手の立場に立ってわかりやすく説明することによって、社会に還元します。

■各分野における「わたしたちの使命」

・製品安全分野

「製品事故に関する情報を調査、分析し、再発防止やリスクの低い製品開発に向けて必要な情報を発信します。」

(参照 HP) [製品安全](#) | [製品安全](#) | [製品評価技術基盤機構](#)

・化学物質管理分野

「化学物質管理分野では、安全の確保と経済の発展の両立に向け、化学物質の人の健康や環境に影響するリスクの低減に貢献するとともに、国際社会の変化に柔軟に対応した化学物質管理制度の構築に向けた支援を行います。」

(参照 HP) [化学物質管理](#) | [化学物質管理](#) | [製品評価技術基盤機構](#)

・バイオテクノロジー分野

「生物遺伝資源の提供、遺伝子組換え技術の産業利用における安全確保、生物遺伝資源利用のための国際的ネットワーク構築などバイオ産業の発展を支援しています。」

(参照 HP) [バイオテクノロジーセンター](#) | [バイオテクノロジー](#) | [製品評価技術基盤機構](#)

・適合性認定分野

「認定センター(IAJapan)は、公的認定機関として、試験所・校正機関・製品認証機関・標準物質生産者を国際規格に基づいて認定し、試験・校正データの信頼性や製品の品質を支えています。」

(参照 HP) [適合性認定](#) | [適合性認定](#) | [製品評価技術基盤機構](#)

・国際評価技術分野

「大型蓄電池システムなど、戦略的技術分野における、先進的な技術・知見等を活用した評価技術の開発、国際標準の提案、認証基盤の整備等を行います。」

(参照 HP) [国際評価技術](#) | [国際評価技術](#) | [製品評価技術基盤機構](#)